



第3号

令和元年5月31日（金）
足立区加平小学校
校長 金泉 隆一

たくましく生き抜くために

校長 金泉 隆一

以前読んだ本の中に、最近の子どもたちの一般的傾向として、

「我慢する心にかけること」「すぐカッとして、心の押さえがきかないこと」「欲求ばかり大きく、わがままであること」

と書かれていました。

確かに、昔のように、スーパーのお菓子売り場やおもちゃ屋で、駄々をこねて泣き叫んでいる子をあまり見かけなくなったように思います。生活が豊かになり、何でもすぐに手に入れられるような社会に慣れてしまい、子どもたちが我慢し、こらえることができなくなっているように感じます。学校生活の中でも、自己中心的で、わがままな言動や行動から友だちとトラブルになることが多々あります。

「子どもは地域の宝」と言われます。確かに、「大事な宝」です。しかし、大事にし過ぎてもいけません。親子関係の中では通用していることでも、学校や会社という集団の中では、認められないことや許されないことがたくさんあります。

この本の中には、
「親が子どもを溺愛している家庭やいつも子どもの言いなりになっている家庭から、わがままな子が育つとも言われています。本当に子どもがかわいいと思うなら、甘やかし、可愛がりすぎには十分注意することが大切です。」
と書かれています。

このことは、「非認知能力」につながります。以前の学校だより（平成28年度2月）でもお伝えしたことがあります。 「自制心」（非認知能力の一つ）について「マシュマロ実験」という有名な実験があります。アメリカの保育所で、186名の4歳児を対象としたもので、次のような方法で実験しました。

まず、子どもにマシュマロを1つ渡し、「いつ食べてもいいですよ。ただし、大人が部屋に戻ってくるまで我慢できれば、マシュマロを2つ食べられます」と言って大人は退出します。子どもたちは、大人がいつ戻ってくるか分かりません。そして、部屋を出て15分後に大人が戻ってきます。この実験の結果、3分の2にあたる子どもたちが、大人が戻ってくる前に、我慢できずにマシュマロを食べてしまったそうです。

その後の追跡調査の結果、彼らが高校生になった時には、我慢した子と我慢できなかった子の間に成績においてかなりの差が生まれました。我慢してマシュマロを2つ手に入れた子どもは、我慢できずに食べてしまった子より成績がよかったということです。

このように、自制心だけではなく、様々な「非認知能力」が、将来の子どもの人生に大きな影響を与えているという結果が最近の調査等では出ているそうです。

この「非認知能力」は、家庭や学校など集団の中で人から学び、人から獲得するものです。特に小学校の時期に身に付けさせることが、これからの人生に大きく影響してくると言われます。子どもたちに「非認知能力」を培うためには、

「家庭でのしつけ」 「地域での声かけ」 「学校において教師や友だちとの学び」

が、非常に大切であるということです。

やがて子どもたちは、社会の荒波へと漕ぎ出します。そして、その社会で接する人たちは、けっして自分にとって都合のいい人たちばかりとは限りません。自分の考えを主張すべきときは主張しても、譲るべきときは気持ちよく譲ることができる子に、互いの違いを認め合い、よさを認め合い、協調していける子に育てていきたいと思います。

学校は、確かな学力（認知能力）を身に付けさせるとともに、学級・学年・学校という「小さな社会」の中で、人とのかわり方を学ばせていきます。さらに、学校・家庭・地域で連携しながら、様々な体験・経験を通す中で、声をかけ・励まし・教え・諭して、加平小の子どもたちをたくましく大きく育てていきたいと思っています。

「非認知能力」とは、学力や体力などと違い、数値で表すことのできない人間の気質や性格的な特徴のことです。具体的には、
忍耐強さ・根気強さ・自制心（心の強さ）、意欲・誠実・好奇心（興味・やる気）、社交性・協調性（思いやり・協力）などのことです。
特に「自制心」「忍耐強さ」「根気強さ」は重要だと言われています。

6月行事予定

日	曜	行事予定	相談室	かへいキッズ (年)	あいさつ当番
1	土				
2	日				
3	月	交通安全教室(1・2・4年) QU 調査		3・4・5・6	4－1
4	火	体力テスト(1～4年生は午前授業)	○	3・5・6	
5	水	B 時程 演劇鑑賞教室 委員会活動③		2・4	
6	木	パワーアップタイム		2・4・5・6	
7	金	内科検診(1・5年) 社会科見学(3年) プール前健康相談(1年・該当者) 鋸南自然教室事前相談(5年)	○	2・3・4・5・6	
8	土				
9	日				
10	月	鋸南自然教室始(5年)		3・4・5・6	4－2
11	火	みそ作り(6年)	○	1・3・5・6	
12	水	4 時間授業 鋸南自然教室終(5年)		1・2・4	
13	木	パワーアップタイム		2・4・5・6	
14	金	B 時程	○	2・3・4・5・6	
15	土				
16	日				
17	月	あじさい読書旬間始 水泳指導始 もりもり給食ウィーク		3・4・5・6	4－3
18	火	学校公開① ToTo 出前授業(6年) プラスチックのリサイクル実験(4年)	○	1・3・5・6	
19	水	学校公開② B 時程 プラスチックのリサイクル実験(4年)		1・2・4	
20	木	学校公開③ エンジョイタイム パワーアップタイム		2・4・5・6	
21	金	学校公開④ 避難訓練 クラブ③	○	2・3・4・5・6	
22	土	学校公開⑤ 土曜授業③ 学校説明会 合唱団保護者会 セーフティ教室(1～3年2時間目・4～6年3時間目)			
23	日				
24	月	水道キャラバン(4年)		3・4・5・6	3－1
25	火	B 時程 外国語校内研修授業(5－1)	○	1・3・5・6	
26	水	B 時程 プラネタリウム(4年)		1・2・4	
27	木	パワーアップタイム		2・4・5・6	
28	金	定期健康診断終 あじさい読書旬間終 青井中体験入学(6年)	○	2・3・4・5・6	
29	土				
30	日				

7月の主な行事

3日：B 時程・委員会活動	5日：クラブ活動	6日：土曜授業	10日：4 時間授業	19日：B 時程
19日：夏休み前最終登校・給食終	23日・24日・25日・26日・29日：個人面談			
22日～30日：サマースクール・夏季水泳教室	(水泳教室は23日から)			

＜学校公開について＞

今年度の学校公開は6月18日(火)～22日(土)です。参観時間は昨年と同様に2・3時間目、5・6時間目が基本となります。日頃のお子様の授業の様子をぜひご参観下さい。また、各学級前にアンケート用紙を置いておきますので、お気づきの点などお書きになって、入り口のアンケートボックスに入れるか、お子さんを通して担任にお渡しください。詳しい各学級の時間割などは、別紙お便りが出ますのでそちらをご確認ください。

生活指導部より

今月の生活目標

天気にあわせた過ごし方を考えよう。
進んで自分の健康を考えよう。



天気の良い日は元気に外遊びを楽しんでいる子供たちですが、雨の日が多くなるこの時期、教室内で工夫して遊ぶことができるように指導していきます。また、これから気温が高くなっていくとともに、水泳指導が始まります。衛生面・体調面への配慮とともに、ご家庭でもハンカチ・ちり紙を身に付ける、好き嫌いせずしっかり食べる、早寝早起きをするなど、お子さんへの声かけをお願いします。

ひまわり教室から



ひまわり教室が開設されてから3年が経ちました。ひまわり教室では、児童一人一人にあった方法で「得意」を伸ばし「苦手」を改善できるように支援していくことをねらいとして指導しています。教員と一対一で学習する個別指導や、児童3～4人で学習する小集団指導など、指導形態も児童の状況に応じて組み合わせています。

先日、小集団指導で、分かりやすい言葉で相手に伝えることをねらいとして「絵を伝えよう」という活動を行いました。自分の見ている絵を言葉だけで相手に伝えることは難しく、なかなか伝わらずに苦戦している児童が多かったです。活動していく中で、伝えることの難しさや、同じ言葉でも伝わり方が違うことを実感することができました。また、どう伝えたら伝わるのかを考える中で相手の立場にたって考えることの大切さも学習することが出来ました。

今後も様々な活動を行う中で、児童の良さをより発揮することができるように一人一人の個性に合わせて指導を行っていきたいと思います。

担当 江田 茜

特別活動を通して・・・

特別活動主任 流尾 里恵子

日頃より、ユニセフ募金やエコキャップ運動など、ご協力をありがとうございます。この場をお借りしまして、お礼を申し上げますと共に、加平小学校の特別活動について、紹介させていただきます。

児童集会のオープニングは、加平小学校の教育目標のキャラクター「思いやりのある子のこころん、考える子のかんちゃん、たくましい子のたっくん」という「加平トリオ」が登場し、全校の拍手で始まります。5月の音楽集会では、「大きな歌」を一番ごとに、1年生→2→3→4→5→先生達→6年生と歌っていきました。どの学年も一生懸命歌っています。その後、全校が自由に歩いて、違う学年の子とじゃんけんをして、勝った方の子から「♪大きな」続いてもう一人の子が「♪大きな」「♪歌だよ」「♪歌だよ」と、交代しながら歌っていきます。どの子もわくわくしながら、さまざまな学年と関わり、楽しんでいました。

4月の「1年生を迎える会」では、入学したての1年生に各学年が心のプレゼントを贈りました。2年生は、群読。3年生は、花のアーチ。4年生は、手作りペンダント。5年生は、入場の演奏。6年生は1年生の入退場のエスコートです。各学年の出し物にも、歓迎の気持ちが込められ、温かい雰囲気の中にもけじめのある和やかな会になりました。1年生も会の間、落ち着いて姿勢良く過ごせ、お礼の出し物「どきどきの1年生」の歌を元気に歌っていました。1年生を迎えた上級生の子供たちの優しく温かいまなざしに、緊張していた1年生の心も和んだのではないのでしょうか。

先日、各委員会の委員長が、活動内容や全校に協力してほしいことなどを発表する集会を行いました。どの委員長もわかりやすく堂々と発表することができていました。5・6年生の代表委員と各委員会の委員長が集まり、拡大代表委員会も行いました。

加平小学校をよりよい学校にしていくために、児童自らが、積極的に話し合う姿が、とても頼もしかったです。

さて、保護者の皆様は、特別活動というと、どのような活動を思い浮かべるでしょうか。

特別活動は、学級会や係活動などの「学級活動」、委員会や集会などの「児童会活動」、4年生からの「クラブ活動」、1年生を迎える会や運動会などの「学校行事」から成り立っています。特別活動は、学級や学年、学校という集団を通して学ぶことができる活動で、主に以下の3つの資質・能力を育てることを目指しています。

- ①自分と同じように人を大切にし、思いやり、互いのよさを認め合い生かし合いながら、よりよい人間関係を築こうとする力
- ②学級や学校が居心地のよい場となるよう、自ら考え、取り組んでいくことで、よりよい集団や社会をつくろうとする力
- ③自分のよさや可能性を生かして実践しながら、よりよい自分・なりたい自分に向けてたくましくがんばる力

特別活動の多様な集団活動を通して、上記の3つの力が育ち、子供たち一人一人が大人になっても、「温かく望ましい人との関わりの中で、よさを発揮しながら、生き生きと社会生活を送る将来」につながっていくよう、一つ一つの活動を大切に実践してまいります。

引き続き、温かいご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

☆たてわり班活動☆

たてわり班活動がスタートしました。一つの班が1年生から6年生までの10～12人の構成になっています。この日は、第1回目のたてわり班活動でした。自己紹介や班のめあて決めを行い、ハンカチ落としやじゃんけん列車など、教室で遊べる遊びを楽しそうにやっていました。



うれしかったこと

先日、地域の方からこんなお話がありました。

交通安全運動の期間中のことです。六町公園前のテントの中にと、下校中の加平小学校の子どもたちが、一人ずつ「こんにちは」とあいさつしてくれました。とてもうれしかったので、学校までお伝えにきました。

全職員がとてもうれしい気持ちになりました。加平の子どもたちは、素敵ですね。